

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2022年
11月15日

No.210

かすかの
写真募集中

もくじ

- 2 令和3年度決算認定
- 5 すべての議案の議決結果
- 6 9月定例会での議案審査
- 10 13人の議員が一般質問
- 14 定例会の視点・論点
- 15 議会閉会中の活動



令和4年

9月定例会

ギカイを



見に行こう!



「お散歩」

やまだひろゆき

撮影者 山田博之さん

撮影場所 須玖児童遊園

撮影者の紹介はP16へ

Q&A

決算審査
特別委員会
での

委員会の審査では、各事業の
決算内容について、さまざまな
質疑が行われました。
ここでは、その一部をお知らせ
します。



産後ケア事業は

問 当初予算額に対し、決算額が約5割程度であった要因をどう考えているか。また、事業の周知はどのような形で行ったのか。

答 登録件数は多いが、実質的に利用に至らなかったケースもあるかと思う。保険をかけるような形で、登録のみをされている方も多く、実際の必要性に応じて支援を行っている。また、周知については、母子手帳の交付時や乳児家庭全戸訪問事業での訪問の際に行い、必要な方には事前登録をいただいている状況である。

コミュニティ・スクール事業は

問 地域行事へ参加する子どもや保護者が固定化しているように思われる。広く参加してもらうことがコミュニティ・スクールの目指すところだと思うが、どうか。

答 学校もしくは自治会で温度差が出てきているところも要因かと思う。原因を分析しながら活発に活動が行われているところの事例をピックアップし、それを他の学校・地域などに提供しながら進めていきたいと考えている。

議会費は2億6,167万円

(主な項目と決算額)

- ・議員報酬(20人).....1億1,550万円
- ・期末手当(20人).....3,597万円
- ・政務活動費(議員一人当たり1万2,500円/月額) 300万円
- ・費用弁償.....132万円
- ・議会だよりの作成(年4回).....201万円

成年後見制度利用促進事業は

問 令和3年度は市長の申立て件数が4件、親族の申立て件数が1件となっている。課題と捉えていることはあるか。また、相談窓口が出来たことの周知や、制度の理解の促進が非常に大事であるが、市民や地域に向けた周知はしっかり行ったのか。

答 課題はかなり多くある。2親等以内の家族に成年後見の申立ての意志があるか、ないかの確認を文書で行っているが、家族と疎遠になっている方からの相談が多く、返答を得ることもなかなか難しいのが現状である。また、広報は市報やウェブサイトで行っているが、まだ十分できていないところもあるため、今後も引き続き行っていく。

公民館等施設整備事業は

問 今後、公民館などの大規模改修時には、森林環境譲与税を活用し、国産の木材を使った木質化を行なう方向性を持っているか。

答 森林環境譲与税の活用については、全庁的に希望などを取り、調整している。多くの市民が利用する公民館の大規模改修の際には、活用するよう毎年要望している。

議会の予算は、このようになっています。内訳に記載しているのは、主な項目です。



本会議での討論

吉居 恭子 議員 **反対**

長らくコロナ禍の中、約22億円の黒字と約20億円の基金積み立てで、歳入の9.6%の42億円も使わずに残した。その一部でも、コロナ禍で厳しい生活を強いられている市民に寄り添った使い方、市独自の生活支援策に使うべきだった。

西村 澄子 議員 **賛成**

どのような分野の経費であっても、事業の精査と、経費節減の努力を怠ることなく、計画的な行政運営が行われており、それぞれの課題に対応するための確かな予算配分と、適正な予算執行が行われており賛成する。

岩淵 稜 議員 **賛成**

的確な予算配分と適正な予算執行により、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は84.2%と前年度より3ポイント下降し、過去9年間で最も良い数値となった。また健全化判断比率も高水準で維持されており、よって本決算に対し賛成する。



令和3年度

一般会計決算をチェック!

9月定例会では、決算審査特別委員会(野口明美委員長)を設置し、令和3年度一般会計の決算審査を行いました。

委員会では、「決算書」や「主要な施策の成果」などの資料を基に、慎重に審査を行い、採決の結果、賛成多数で決算を認定しました。

令和3年度一般会計 決算状況

黒字

認定

決算審査特別委員会は、議会選出の監査委員を除く19人の議員で構成されています。

歳入総額 440億15万円
(前年度比約73億円減)

歳出総額 415億2,081万円
(前年度比約77億円増)

翌年度に繰り越すべき財源 2億3,938万円

実質収支額 22億3,996万円

詳しくは市ウェブサイトでご確認ください。



歳入・歳出の
主な内容
を見てみると

歳入 73億2,241万2千円の減収
・地方交付金および繰越金などは**増↑**
・国庫支出金および市債などは**大幅減↓**

	区 分	金 額
増額要因	地方交付税	9億8,954万円
	繰越金	5億3,469万3千円
減額要因	国庫支出金	▲75億2,800万9千円
	市債	▲10億480万円
	繰入金	▲5億1,219万4千円

歳出 76億6,335万4千円の減

	目的別	金 額	主 な 内 容
増額要因	民生費	37億2,960万1千円	子育て世帯臨時特別給付金給付事業費(約18億円) 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費(約9億5千万円)
	衛生費	8億2,470万8千円	新型コロナウイルス予防接種費(約8億円)
減額要因	総務費	▲110億1,379万9千円	特別定額給付金給付事業費(▲約113億7千万円) 財政調整基金積立金(▲約8億円)
			公共施設等整備基金積立金(約10億円)
	教育費	▲13億9,390万9千円	小学校施設整備事業費(▲約7億6千万円) 小学校管理費(▲約5億6千万円)

9月定例会 議決結果一覧

議案の内容は
こちら



項目	掲載ページ	議決結果	賛成	反対	議員																	
					野口明美	岩切幹嘉	高橋裕子	原克巳	米丸貴浩	川崎英彦	飯田浩昭	白水祥太郎	中原智昭	迫賢二	船久保信昭	北田織	藤井俊雄	西村澄子	金堂清之	岩淵穰	内野明浩	吉居恭子
人事	人権擁護委員の候補者の推薦	6	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	市議会議員及び春日市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市職員の育児休業等に関する条例	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育所設置条例	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度 一般会計補正予算(第4号)	8	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	令和4年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度 筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計補正予算(第1号)	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度 下水道事業会計補正予算(第1号)	9	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	令和4年度 一般会計補正予算(第5号)	8	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度 一般会計歳入歳出決算認定	2	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度 下水道事業会計収入支出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	工事請負契約の締結((仮称)西スポーツ・レクリエーション広場整備工事)	6	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得	9	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	児童センターの指定管理者の指定	7	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	放課後児童クラブの指定管理者の指定	7	原案可決	14	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	老人福祉センターの指定管理者の指定	6	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自動車駐車場の指定管理者の指定	9	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案提出	決算審査特別委員会の設置	-	原案可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告事項	「緊急時の薬事承認」の在り方等について検討を求める意見書	14	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度春日市健全化判断比率について(令和4年9月1日受理)																					
陳情	令和3年度春日市資金不足比率について(令和4年9月1日受理)																					
	「春日市学童保育に関する陳情書」について(送付先:市民厚生委員会)																					

※松尾徳晴議員(会派に所属しない議員)は議長職のため、表決権はありません。 ※◎は会派代表者 ※退は退席者 (○賛成 ●反対)
 ※藤井俊雄議員は監査委員のため、一般会計決算に関しては審査に加わっていません。 ※欠は欠席者

特別会計 事業会計 決算状況

各特別会計・事業会計の審査が付託された常任委員会において行われ、すべての決算を認定しました。



市民厚生委員会 国民健康保険事業

認定

ポイント



歳入のうち国保税が対前年比約4億3,500万円増額となった要因は、収納率の向上および保険税の軽減分を補てんする保険基金安定繰入金による。令和3年度の実質単年度収支は約1億7,200万円の黒字であり、これは前年度の赤字決算から財政収支の改善に努めてきた結果と考える。

歳入 103億9,955万8,433円 (前年度比4.4%増)

歳出 101億5,866万9,539円 (前年度比4.3%増)

問 継続受診率があまり高いとは思えない。重症化予防の観点から、経年変化を捉えるため、継続受診は大切だと考えるがどうか。

答 継続受診率は低いと認識しており、重症化予防の観点から力を入れるところと考える。

市民厚生委員会 後期高齢者医療事業

認定

歳入 15億6,323万2,750円(前年度比2.1%増)
 歳出 14億9,065万2,293円(前年度比2.0%増)

地域建設委員会 下水道事業

認定

【令和3年度の主な事業】

- ・下水道施設長寿命化事業として、管路改築実施設計および汚水と雨水の改築工事を実施。
- ・小倉第3雨水貯留施設築造事業として、塚原台交差点周辺の大雨時の冠水対策および小倉第1雨水幹線への雨水流出抑制のため、雨水貯留施設を整備。

収益的収入 23億6,831万2,071円(前年度比1.45%増)

収益的支出 18億3,778万2,390円(前年度比5.1%減)
 (御笠川那珂川流域下水道維持管理負担金が減少したことによる)

資本的収入 11億2,045万1,159円(前年度比123.7%増)
 (起債対象事業費の増加に伴う公共下水道債の増額による)

資本的支出 21億1,716万9,746円(前年度比43.7%増)
 (公共下水道費の増額による)

市民厚生委員会 介護保険事業

認定

ポイント



給付系歳出が増額となった要因は、施設数の増による地域密着型介護予防サービス費の増、介護報酬改定に伴う特定入所者介護サービス費の増がある。また、包括的支援・任意事業歳出の増額要因の一つは、東地域包括支援センターの開設である。

歳入 73億5,418万2,618円 (前年度比5.6%増)

歳出 72億1,465万6,745円 (前年度比5.9%増)

問 新型コロナの影響で通所系サービスを控えている方への対応は行っているのか。

答 通所系サービスを控えている方を把握しており、必要に応じて通所サービスの案内を行っている。

問 居宅の方でも通所系サービスに近いようなメニューの助言なども行っているのか。

答 訪問系リハビリを導入し、また、介護度の軽い方は自宅でできる体操などを案内している。

児童センターの指定管理者の指定

特定非営利活動法人ワークズコープを児童センター(3施設)の指定管理者に再指定



- 1 指定期間:令和5年4月1日~令和10年3月31日の5年間
- 2 第2期の主な提案内容
 - ① 「地域の子育ち・子育て拠点」としての環境づくり
 - ② 多世代交流、子どもボランティアの育成
 - ③ 土日行事の充実やオンライン活用



毛勝児童センター

放課後児童クラブの指定管理者の指定

株式会社テノ. サポートを放課後児童クラブ(全18施設)の指定管理者に再指定



- 1 指定期間:令和5年4月1日~令和10年3月31日の5年間
- 2 第2期の主な提案内容
 - ① 加配支援員をクラブ単位(18)から支援単位(30)に拡充
 - ② 児童の出欠確認や保護者連絡機能を有するシステム導入
 - ③ 子どもの交流の場の創出

管内視察 天神山小学校のひかりクラブを視察



問 第2期に向けて事故対応などの危機意識の醸成が必要であると思うがどう考えるのか。

答 事故後の対応が大切であり、現指定管理者は適切に対応し、報告も受けている。また、新型コロナ感染拡大防止も事故防止の観点として捉え実施しているが、取り組みを強化していきたい。

本会議での討論

吉居 恭子 議員 **反対**

怪我や病気、衛生管理、緊急時対応などのマニュアルなどが確認できない。収支報告の情報公開も黒塗り、人件費の総額さえ明確にしないなど、児童の命と心身の健康、成長を担う放課後児童クラブの運営に真摯に向き合っているとは思えない。

西川 文代 議員 **反対**

業務実績の評価をする際、重要な視点である、収支が適正か、費用対効果について判断する収支決算書において、情報の開示がされていないのは大きな課題。業務実績について透明性が欠ける部分をそのままにして明快に賛成の意を表明できない。

原 克巳 議員 **賛成**

現在の指定管理者において、クラブを利用する保護者および児童に対して実施されたアンケート調査の結果によると、「ふつう・よい・とてもよい」と回答した割合は、ほとんどの項目で9割を超える高い評価だった点を十分考慮するべきである。

迫 賢二 議員 **賛成**

新型コロナなどの感染症、食物アレルギーなど、さまざまな問題への適切な対応が求められる中で、ノウハウを持っている現指定管理者だからこそ、ここまで乗り切ってきたものと判断し、今後も、よりよい運営を目指していただきたいと考える。



老人福祉センターの指定管理者の指定

社会福祉法人春日市社会福祉協議会を老人福祉センター(春日市老人福祉センターナギの木苑)の指定管理者に再指定



指定期間:令和5年4月1日~令和10年3月31日の5年間

保育所設置条例の一部改正

春日市立春日原保育所を公私連携型保育所に



春日原保育所

春日市立春日原保育所を児童福祉法第56条の8第1項に規定する公私連携型保育所とするため、所要の規定の整備を図るもの。

問 公私連携型保育所に移行することに伴う保護者のメリットは何か。

答 指定管理者制度は2回の再指定を受けると公募になるが、公私連携型は継続して保育体制が維持できることである。

工事請負契約の締結

(仮称) 西スポーツ・レクリエーション広場整備工事



- 契約方法 一般競争入札(入札後審査型条件付一般競争入札(総合評価方式特別簡易型))
- 契約金額 2億2,550万円
- 契約相手方 才田組・龍建設特定建設工事共同企業体

問 低価格入札であるが問題はないのか、また、調査に当たってどこを評価したのか。

答 調査基準価格は88.37%であり、契約者の入札率は85.82%である。調査基準価格を下回っているため低入札価格調査を行った。評価した項目は、資材を手持ちで持っていること、自前で施工するため安く済むことである。

問 ダンピング受注排除の実効性を高める観点から受注者の施工体制を重点的に監督していく必要があると思うが、これは市が行うのか。

答 発注元として、現場の確認や進捗の確認、どのような方が作業に携わっているかなどを注視し、間違いなく現場の指導管理をしていく。

人権擁護委員を推薦



人権擁護委員

任期は令和5年1月1日から3年間
おおくぼ さとし
大久保 聡氏(1期目)

【人権擁護委員】とは

家庭内や隣近所のトラブル、いじめや差別など、さまざまな人権問題や悩みごとの相談に応じる。全国には約14,000人、本市では9人が法務大臣から委嘱され活動している。



全ての議案はこちら⇒

財産の取得

消防団北分団の消防ポンプ自動車1台を購入



現在の消防ポンプ自動車の更新をするもの。

問 ポンプ自動車の買い換えはどのような計画で行っているのか。

答 部品の調達等に支障が出るため20年から22年で買い換える計画である。

問 今後更新が必要なポンプ自動車は残り何台なのか。

答 東分団・西分団・本部分団の合計3台である。

自動車駐車場の指定管理者の指定

春日駅前駐車場の指定管理者を再指定



問 指定管理者が負担している費用はどのようなものがあるのか。

答 春日市への納付金のほか、管理費として機器のリース代、駐車場の管理費、工事・インフラ関係費用が主な支出項目になる。

問 駐車場2台分の増設が提案されているがどの辺りに計画しているのか。

答 駐車場出口付近を計画している。



JR春日駅前駐車場

令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入	19万円増額	→	総額23億3,759万4千円
収益的支出	146万7千円増額	→	総額18億9,422万1千円
資本的収入	1,402万1千円減額	→	総額5億656万5千円
資本的支出	2,682万1千円減額	→	総額15億4,020万2千円



国庫補助内示額の減少に伴う事業費および国庫補助金等の減額、令和3年度決算による減価償却費および企業債の元利償還金などの確定によるもの

資本的収入が資本的支出に対し不足する額10億3,363万7千円は、以下で補填された。

- ・消費税及び地方消費税資本的収支調整額……………2,497万円
- ・減債積立金……………4億6,898万3千円
- ・損益勘定留保資金令和3年度分……………4億9,103万9千円
- ・損益勘定留保資金令和4年度分……………4,864万5千円

問 国庫補助が950万円減額補正されているが、減額となった理由は何か。

答 明確な理由は把握していないが、全国で雨水対策などの補助要望が増えている状況である。このため、汚水に関する補助額が減少していると考えている。翌年度の事業費に影響するため、国・県に追加要望を働きかけていきたい。

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

■補正額 20億4,833万8千円増 ■歳入歳出総額 387億6,318万1千円



【今回の補正予算に計上された春日新50年プラン関連事業】

- ・市民活動交流拠点施設の基本構想・土地利用計画策定業務
- ・立地適正化計画策定業務(都市計画を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導により、コンパクトシティ形成に向けた取り組みを推進するための計画)
- ・西鉄春日原駅周辺まちづくり構想策定業務
- ・光町大土居線都市計画決定図書作成等業務
- ・惣利地区公民館大規模改修工事設計監理業務
- ・まちづくり支援センター施設耐震等改修工事設計監理業務 など



【春日新50年プラン】とは

春日市都市計画マスタープランの重点プロジェクトに長年の課題や懸案を関連付けて、事業の選択と集中を行い、ハード面の都市づくりを強力に推進しようとするもの。

問 市民活動交流拠点施設について、集約を検討している複数の公共施設とは。

答 市中央部へ集約する公共施設としては、男女共同参画センターじょなさん、老人福祉センターナギの木苑、西出張所、いきいきルームなどを検討している。

問 総合スポーツセンター武道場および卓球場の補修工事の内容は。

答 今回の補修工事は、武道場および卓球場の木製の床に劣化が見られたため、剥離などが生じる前に対応を行うものである。木材は膨張と収縮を繰り返すため、定期的なメンテナンスが必要である。

問 児童や生徒が故意にタブレット端末を壊した場合も市の方で対応しているのか。

答 故意や重度の過失により破損した場合は、保護者に修繕料の負担を求めている。なお、故障や破損の件数としては、4月から7月までの実績で小学校が80件、中学校が37件である。

で本会議論



吉居 恭子 議員 反対

オミクロン株がまん延し、いつまで続くか解らない不安と行動制限の中、物価高騰の風を受け生活を縮小させて暮らす市民の日々を思いやることなく、着々と基金を積み立てる補正予算となっている。一番大事な市民の支援を優先すべきである。

船久保 信昭 議員 賛成

これまでに「子ども応援給付金」など市独自の支援策が実施され、今回も義務的経費、オミクロン株対応型ワクチンの追加接種業務、さらに学校でコロナ感染対策などに対応するサポートスタッフの継続配置など必要な予算が計上されている。

中原 智昭 議員 賛成

今回の補正予算は、目の前の課題に向き合いながら長期的な視点に立った都市づくりについても着実に前に進めており、現在のコロナ禍において現状を乗り切りかつ将来も見据え、未来への希望をつなぐ必要な経費が適正に計上されたものである。

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

■補正額 8億1,434万8千円増 ■歳入歳出総額 395億7,752万9千円



- ◆住民税非課税世帯等緊急支援給付金給付事業費 7億8,738万9千円
- ◆新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費 2,638万5千円

問 住民税非課税世帯等緊急支援給付金は、緊急に給付する必要があるがどのように給付するのか。

答 住民税非課税世帯については把握ができていますので迅速に対応できる。家計急変世帯については、本人の申請が必要となるため、市報やウェブサイトのほか、関係機関の窓口チラシを設置し周知に努める。

一般会計決算を
チェック!

決算状況
議決結果

議案審査

議案審査


一般質問

一般質問

定例会の視点・論点・意見書
議会閉会中の活動


基本目標 2

教育と福祉の連携についての考えは



ふなくぼ のぶあき
船久保 信昭 議員

問 学校と放課後デイ事業所の連携は。
答 特に取り決めはなく、教育委員会として早急に市長事務部局と課題を協議、調整し、各学校に対応を求める。
問 事業所のさらなる支援の質の向上は。
答 市開催の障がい者福祉関係機関会議での情報交換をより充実させ、質の向上を支援するため、手法などを検討する。
問 事業所の療育支援を教員へ情報提供しては。
答 教員の理解を促す。学校と事業所間の情報共有は重要であり、教育委員会と福祉部局が連携し、小中学校の校長会などで働きかける。




基本目標 4

春日新50年プランと地区公民館の充実



なかはら ともあき
中原 智昭 議員

問 「新50年プラン」の内容は。
答 ①光町交差点の改良、市中央部拠点施設へのアクセス向上などへ早期に着手
②西鉄春日原駅前の活性化や既存不適格建築物解消に向けた高さ規制の見直し
③市中央部に社会福祉協議会を核とする地域共生社会の拠点施設を整備
④水資源の利用、雨水調整、都市景観などの観点から、ため池の防災工事や活用を促進
⑤地区公民館にエレベーターの設置はせず、小中学校の多目的ホールに空調を整備し積極的に地域行事で活用



西鉄春日原駅前周辺整備イメージ


基本目標 1

商業スペースを活用した市民活動の場づくり



にしむら すみこ
西村 澄子 議員


問 企業などの協力により市民活動の場を増やすことは。
答 お互いの目的や条件が適合する事が重要である。市民活動をさらに活発化していく上で、活動の場を増やすことも必要と考えており、調査研究していく。
問 西鉄春日原駅周辺の活用で、商工会や大野城市と連携し、月1回マルシェの開催は。
答 行政主導で実施していく事は困難。民間の力を発揮しやすい環境や空間を整備していくため、さまざまな活動が行われるエリアになっていく事を期待している。



西鉄春日原駅西イベント


基本目標 2

部活動の地域移行について



さこ けんじ
迫 賢二 議員

問 部活生がスポーツなどに親しむ権利を保障するために、教職員は何かを諦める覚悟が必要と考えるが。
答 教職員は、今一度、何もかも背負わなければならないとの既成概念を取り払い、本来あるべき姿である教材研究、学級経営、生徒指導等々に努めるべきである。
問 地域移行については、部活生の保護者を含め、広く市民に広報して情報を共有すべき案件だと思うが。
答 国や県が制度設計を行い、方針を示したら、まず児童生徒や保護者に知らせ、広く市民にも知らせる。



クラブチームの活動の様子


一般質問

KASUGA

9月定例会では、13人の議員が市政に対する質問を行いました

第6次総合計画基本目標	基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3	基本目標 4	基本目標 5
	人と地域がつながり、豊かさとにぎわいを生み出すまち	安心して子育てができ、子どもがすくすくと成長できるまち	みんなで支え合い、誰もが健やかにいきいきと暮らせるまち	良好な住環境の中で、安心して快適に暮らせるまち	持続可能で、市民から信頼される行政経営


いつでもどこでも

二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。

※春日市の一般質問は、
・「回数制」は3回まで質問ができます。令和3年3月定例会から、答弁も含め60分以内に終わらせるよう努めています。
・「時間制」は議員が質問できる時間(持ち時間)は40分です。40分以内であれば、何度でも質問ができます。
※議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。


基本目標 4

鉄道高架による交通環境変化とバス広域運行



よねまる たかひろ
米丸 貴浩 議員

問 春日原東町商店街に隣接したバス停新設によるバス路線空白地域の解消、新たな経済活力の向上が期待されるイオン大野城への乗り入れについての見解は。
答 乗り入れは困難と考えるが、今後ルート変更も視野に入れ、関係自治会などと協議しながら調査研究する。
問 西鉄春日原駅の交通結節機能の強化に伴い、駅を拠点としたバスの運行への見解は。
答 交通結節機能強化の一つの方策だが、さまざまな課題があると考えられるので、今後調査研究したい。



踏切解消後の春日原駅前を走るコミュニティバス

発言順	議員名	基本目標	質問項目	回数制/時間制	掲載ページ
1	米丸貴浩	4	さまざまな交通環境の変化に伴う、コミュニティバス事業の今後について	時間制	10
2	中原智昭	4	春日新50年プランと市民活動の拠点となる地区公民館の充実について	回数制	11
3	船久保信昭	2	教育と福祉の連携について	回数制	11
4	迫賢二	2	部活動の地域移行について	回数制	11
5	西村澄子	1	商業スペースを活用した市民活動の場づくりについて	回数制	11
6	原克巳	2	子ども達の健やかな成長のための取り組みについて	回数制	12
7	高橋裕子	4	自動体外式除細動器(AED)の活用について	回数制	12
		1	文化芸術の振興について	回数制	12
8	吉居恭子	2	春日市の放課後児童健全育成事業の趣旨に沿った運営について	時間制	12
9	西川文代	3	健康スポーツ拡充に向けた環境整備を含む今後について	時間制	12
10	川崎英彦	4	武力有事における春日市の体制について	時間制	13
11	内野明浩	2	子どもの権利について	回数制	13
12	野口明美	3	市民の健康支援について	回数制	13
13	岩切幹嘉	3	認知症の人と共に生きる共生社会について	回数制	13

基本目標 2

子どもの権利と 条例制定について



うちの あきひろ
内野 明浩 議員



問 令和5年4月1日に「こども基本法」が施行されることになるが、本市の考えは。

答 「こども基本法」の施行後は、法律の目的や趣旨で示された施策の方針と市が実施している施策を照らし合わせながら、必要な取り組みを着実に進めていく。

問 本市における「こども権利条例」の制定は。

答 現時点では制定する予定はない。子どもが置かれている状況、地域や団体などの皆さまが子どもにどのように関わっているのか、実情を把握した上で今後考えていきたい。



基本目標 4

武力有事における 春日市の体制は



かわさき ひでひこ
川崎 英彦 議員



問 ロシアのウクライナ侵攻によって、戦争が一瞬にして国民の暮らしを、つらく苦しい現実へ追いやることを見せつけられた。日本やその近隣で発生する有事には地方自治体として市民の命を守るため避難誘導など万全を期さねばならない。避難計画の必要性についての考えは。

答 県から避難指示を受けた後、避難誘導を行う必要があるため、市内で想定される事案ごとに避難実施要領パターンを作成し、的確かつ迅速に避難を実施できる準備を整えている。



水陸機動団上陸訓練を視察

基本目標 4

基本目標 1

女性にAEDを使うのを ためらわない配慮を



たかし ゆうこ
高橋 裕子 議員



問 女性を対象としたAEDの使用に対し、女性の衣服をはだけさせることに対しての戸惑いがあり、救命行為を妨げている可能性があるとの調査結果がある。AED設置個所に各一枚、三角巾などの設置を願いたいが見解は。

答 趣旨は理解できる。専門機関の意見を踏まえ研究する。

問 文化振興のためのリモート会議などに必要との理由で、ふれあい文化センターにWi-Fi設置を願いたいが見解は。

答 他団体を参考に環境整備について調査研究する。



奴国の丘歴史資料館のAED

基本目標 2

子どもたちの健やかな 成長のために



はら かつみ
原 克巳 議員



問 文部科学省の学校保健統計調査では、裸眼視力1.0未満の者や肥満傾向の児童生徒の割合が全国的に増加しているが本市の対策は。

答 スマートフォンなどの利用時間を含めた適切な利用について、さらなる啓発が必要であり、情報リテラシー教育の推進を掲げ各学校の取り組みを促している。肥満については、体育科の学習はもとより、昼休み時間の外遊びなどを推奨するとともに、休日の過ごし方など、家庭における取り組みの啓発を進めたい。



今定例会の一般質問は13人です

全12項目の一覧は10ページへ

基本目標 3

認知症の人と家族を 地域で支え合う対策は



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問 認知症高齢者の行方不明対策として本人と確認できるようなシールの配付を提案し、現在実施されているが、その効果について。

答 令和4年9月8日までで182人に配付している。その間、行方不明者20件、うち1件はオレンジシールに気付いた方からの通報により無事保護された。これは効果を示す事例であったと考えている。

問 新たに、認知症の人と家族への一体的な支援事業に取り組むべきと考えるがどうか。

答 市民のニーズ、他市の動向を注視し、研究する。



見守りオレンジシール

基本目標 3

こども医療費助成を 18歳まで拡充の考えは



のぐち あけみ
野口 明美 議員



問 こども医療費助成は基本的には都道府県の管轄だが、市区町村で独自に上乗せしているため、同じ都道府県でも助成内容に差がでているのが現状である。統計では既に全国で半数弱の自治体を実施しており、全国共通の制度となるように井上市長から国・県に要望していただきたいが考えは。

答 国に対しては、令和4年7月に福岡県市長会から、こども医療費の無料化制度創設について要望している。今後も機会を捉え、国・県に対し働きかけていきたい。



基本目標 3

人生100年時代の健康スポーツ 拡充の今後は



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 運動やスポーツの環境整備に関して市民が本市に望むニーズ調査の結果と今後の取り組みは。

答 年齢層に合ったスポーツの開発と普及、初心者向けスポーツ教室の実施で約7割。ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツを始めるきっかけづくりの取り組みが必要。

問 白水大池公園においてユニバーサルデザインという観点で具体的に進める内容は。

答 公園内の段差の解消、誰もが分かりやすい看板の設置など、その観点で整備を進める。



白水大池公園

基本目標 2

テノ.サポートの学童保育・ 再指定は適切か



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



問 事業が適切に行われたかを、どう検証したのか。

答 事業報告書と聞き取り調査などで所管が作成した業務実績報告書を、選考等委員の副市長と各部長が見て事業評価した。

問 適性を見極め、しっかり研修をした上で保育に当たらせてほしいがどうか。

答 支援員の適性に関しては再度、指定管理者に確認をしていきたい。

問 実費徴収のおやつ代ほか収支内容を保護者に開示すべきでは。

答 おやつ代などは、保護者の求めに応じて、指定管理者は説明する必要があると捉えている。



学童保育ログハウス

議会閉会中の活動

7月、8月に行われた、2つの常任委員会の先進地視察について報告します。



地域建設委員会視察報告

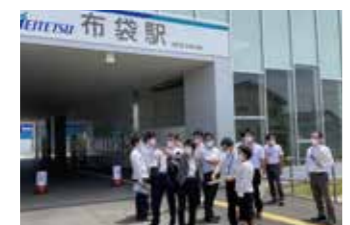
視察者 岩淵委員長 白水副委員長
野口委員 吉居委員 中原委員
視察日 令和4年7月19日～21日

愛知県稲沢市 コミュニティバス事業

所管事務調査のテーマに沿って視察を行った。コミュニティバス事業の更なる利便性向上に繋がる事実の収集において、空白地帯の解消についてタクシーを活用したデマンド交通の導入というヒントを得たが台数に限りがあるタクシーは安定運営の観点から課題が残る。

愛知県江南市 布袋駅付近鉄道高架事業

西鉄春日原駅周辺整備事業に資する情報収集を行った。布袋駅の高架化は周辺の土地画整備事業と連動しており、駅の隣接地に市の公共施設と民間商業施設が入る複合ビルの建設が進んでいた。民間活力の導入がなされており参考となった。



布袋駅で周辺整備状況の説明を受ける

三重県名張市 ゆめづくり地域予算制度

自治会の更なる活性化に向けたヒントを収集。春日市のまちづくり交付金制度と同じように一括して地域予算を交付し地域のことは地域で考える小さな行政の姿が見て取れた。コミュニティビジネスが各地区で展開されており「稼げる自治会」の在り方は参考となった。

総務文教委員会視察報告

視察者 高橋委員長 迫副委員長 岩切委員
川崎委員 西村委員 西川委員
視察日 令和4年8月16日～18日

福井県福井市(福井市立順化小学校・公民館) 学校施設における複合化

小学校の長寿命化改修の時期に合わせ、公民館の複合化を推進したのは児童数の減少により余裕教室が出ていたことがあった。防犯上ゾーニングも明確に区分され、総合的に見てコスト圧縮につながるなどの効果もあった。学校教育と社会教育の連携による教育環境の向上も期待できる。

埼玉県吉川市(吉川市立美南小学校) 学校施設における複合化

新興住宅地における学校施設の整備をその他の公共施設の整備と併せ実施したのは10年程前に学校と公共施設の複合化を図った実績によるもの。小学校を拠点に乳幼児から高齢者までさまざまな年代が利用する施設や学校開放にも使用する特別教室および中庭が1階に集約され自然に交流できるスペースとなっていた。



学校内多目的室で説明を受ける

東京都調布市(調布市立第7中学校) 不登校特例校分教室「はしうち教室」

不登校の子どもを対象に柔軟なカリキュラムを組める「不登校特例校」は、本年4月時点で10都道府県21校(公立12校、私立9校)、その内の一つが同教室。分教室の形態での設置は費用負担が少なく、第7中学相談学級にあった既存の施設のノウハウを生かし、適切な教育活動を不登校生徒に施していた。

令和4年第3回春日市議会 9月定例会の視点・論点

1 委員長報告に対する質疑について

委員長報告に対する質疑は、委員会の審査内容を委員会外の議員が疑義を質すことで、本会議における各議員の表決権行使の参考とするために行われる。今回、委員会の審査権限がおよばない事項についての質疑が行われたが、委員長は事実しか述べられないことから審査事実がない旨の答弁をせざるをえず、結果として委員会審査が不十分であったかのような印象を与える質疑と答弁となった。

これは決して望ましい事態ではなく、議員個人が委員会の審査権限などを十分に理解した上で、委員長報告に対する質疑を行うように議会として取り組む。

2 議案に対する賛成、反対討論について

今定例会では、3議案で延べ10名の議員が賛成、反対の意思で討論を行い、活発な議論が行われた。

討論は議案の賛否に対し自己の意見や考えを述べることで、意見の異なる他の議員に同調してもらうことが本来の目的である。議員個人の演説の場ではなく、ましてや執行部に對しての要望などや議案に関係ない事項を討論の内容に含めることはあってはならないが、そのような事例が見受けられた。

今後は、討論の内容について議員が個々に研鑽し臨むべきで、また簡潔明瞭にわかりやすく行うよう、時間制限を検討する必要がある。

◆地方自治法の規定に基づき、春日市の公益に関する意見書を国または県に提出します。



第6号意見書案 「緊急時の薬事承認」の在り方等について検討を求める意見書

【提出者】 原 克巳 議員

【要旨】 新型コロナウイルス感染症による重症者を減らし、医療現場の負担が軽減できるといわれる軽症者向けの国産飲み薬に期待と必要性が高まっている。しかしながら、必要な法改正を行い緊急時の薬事承認制度を創設したにもかかわらず承認が遅れている。重症者を減らす飲み薬については緊急性を要することから、改正薬機法に従い、「安全性が確認され有効性が推定」されるべき仕組みを明確にして、緊急承認制度が円滑にかつ有用に活用されるよう、政府に対して強く要請する。

原案可決

議会報告会

き3年ぶりに対面で開催します!!

日時 令和4年11月19日(土)
午前10時～11時30分
※新型コロナの感染状況によっては、中止となることがあります。

場所 春日市役所 議会棟(議場・会議室)

内容 [1部] 活動報告
[2部] 意見交換会(委員会ごと)
・総務文教委員会 「教育施策について」
・市民厚生委員会 「健康づくりについて」
・地域建設委員会 「次の50年に向けたまちづくりについて」

定員 先着30名

申込締切 令和4年11月16日(水)午後4時

申込方法 以下の内容をメールまたは電話でお伝えください。

①参加者の氏名
②意見交換の際の参加希望委員会(第1希望から第3希望をお伝えください) ※先着順に希望の委員会に分かれていただきます。
③連絡先(日中連絡が付く電話番号)

議会事務局 ☎092-584-1113(午前9時～午後5時)
E-mail:gikai@city.kasuga.fukuoka.jp



山田博之さん(写真右端)とご家族の皆さん(ペットのきなこ)

春日市の良いところ

長女が小学1年生の時に春日市にやってきて早6年が経ちます。子供が思いっきり遊ぶことができる広い公園や、スポーツを楽しめる設備充実の文化センター、そして気軽に買い物や外食できるお店も多く、飽くことない住みやすさを実感しています。

春日市のここがキになる!

弥生時代中期には、奴国の中心部があったといわれる春日市です。奴国の丘など太古のロマンにあふれる街と思います。今後の発掘調査・解明に期待しています。

いま、はまっていること

キャンプです。3年程前から年に数回行ってます。特にコロナ渦で窮屈な世の中になってからは、その大自然で感じる解放感もひとしおです。新しいアイテムを少しずつ買い足しては、次のキャンプを待ち望む今日この頃です。

春日市や春日市議会に望むこと

コミュニティバスが6路線もあり充実していて素晴らしいと感じますが、エリアをまたいで横断縦断する路線があるとより活用されるかと思えます。また、JR南福岡駅へのアクセスがあれば利用する機会が増えると思えます。岡本や須玖エリアは、行き違いできない狭い道路が多いと感じます。朝夕は抜け道として車の通りも多いところが通学路になっていたり、子育て世代としては心配に思えます。時間帯制限などを検討いただければと思えます。

会期日程 令和4年12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
				本会議 (提案説明) 議会運営委		
4	5	6	7	8	9	10
	本会議	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 広報広聴委	常任委員会 (審査)		
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (一般質問)		常任委員会 (採決) 広報広聴委	議会運営委 常任委員会		
18	19	20	21	22	23	24
	本会議 (採決)					

※日程は都合により変更になることがあります。

広報広聴委員会

委員長 米丸 貴浩
副委員長 吉居 恭子
委員 原 克巳
委員 西村 澄子
委員 西川 文代
委員 白水 祥太郎

健康寿命が延び、「人生100年時代」と呼ばれる昨今ですが、一方で、年齢を重ねて身体機能が低下すると、室内のカーペットなど、ちよとした段差でつまずくことが増えるそうです。転倒して骨折したりすると、そこから介護が必要な状態にもなりかねません。

そこで大切なのは、日頃から体を動かし、身体機能維持に努めることです。春日市では、自宅でのトレーニング方法を紹介した動画「おうちでエクササイズ」やシニアのための運動教室など、フレイル(介護状態の一步手前)にならないための取り組みが充実しています。

自分は大丈夫」と油断や過信をせず、私も日々の健康維持に努め、充実した毎日を過ごしていけたらと思います。(原)

あなたの写真が表紙に!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。



次号211号
令和5年2月15日発行

12月13日
メ切

表紙応募方法の
詳細はコチラ▶



編集後記